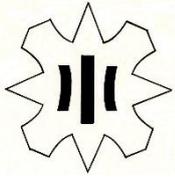


学校だより



せせらぎ

Well-being



令和6年12月号

山中小学校長 尾崎 純子

2学期もありがとうございました。

2学期もあと1週間あまりで終了となります。今学期も本校の教育活動にご協力いただきありがとうございました。入学当初はうまくできなかったことが、上手にできるようになり「先生見て」と嬉しそうに示してくれると、こちら嬉しくなります。やはり少しずつでも、あきらめずにやってみることが大事だと改めて気づかされます。最近練習が始まったなわとびも、できるできないの個人差があります。ただ、練習に取り組むことで少しでもできるようになり、達成感を味わってほしいと思います。また、先日4年生の学級会を参観し、他者に配慮しながら積極的に発言する姿に、集団としての成長を感じました。最終的な合意形成はうまくできませんでしたが、このような経験を積み重ねることが、次につながっていきます。3学期も様々な活動を通して、子どもたちの成長した姿が見られることを願っています。

児童集会にて6年代表リハーサル発表

Kaga STEAM Presentationに向けて、総合的な学習で取り組んできた学習の成果を、全校児童の前で発表しました。本番でも緊張せずに、がんばってほしいです。

児童集会で体育委員会が、なわとびの様々なわざを紹介しました。どんどんいろいろな技に挑戦してほしいです。



児童集会（人権週間にて）

児童会がちがいを認め合いながら、楽しい学校生活を送ろうと呼びかけ企画しました。たてわり班でメンバーをよく知り、よいところを見つけ、協力して活動しようとゲームを行いました。3学期も、互いに協力して様々な活動に取り組んでほしいです。

・本校 CSC より、保護者の方へ一言いただきました。

コミュニティスクール・学校運営協議会コーディネーターとして

竹中哲男

保護者の皆様方はすでにご存じのことと思われませんが、昨年度より加賀市では一斉に「コミュニティスクールの制度」が始まりました。これは、学校運営に関して地域の意見を反映したものとすることが出来る制度で、これまで以上に「地域と学校が結びついていこう」というものだと私は理解しています。

先日、金沢市で「全国コミュニティスクール研究大会 in 金沢/地域とともにある学校づくり推進フォーラム 2024 金沢」があり、参加をしてきました。そこでの議論の中で私が感じたコミュニティスクールの有用性は、

- ①地域の学校への意見が集めやすくなる
- ②学校運営の改善点について、第三者視点で見られ、協力体制が組める
- ③学校の困りごとや課題と地域の困りごとや課題について連携した目を向けることができる
- ④学校ボランティアの参加者が増える

それらの結果として、子ども達の意識の中に「地域や社会をよくするために何かしたい」という思いが増えるということでした。特に、「小学校時代に地域の大人から恩をうけると40代になると次世代を育てたくなる人が増える傾向がある」との研究発表もあり、大変興味深く感じました。

また、先月にあった「山中温泉青少年健全育成連絡会」の研修会で、講師の方は「地域の大人の役割は、子どもが信じて頼れる地域を作り、その活動の姿を見せることだ」と話されました。

現在山中小学校のコミュニティスクールの運営協議会の委員には、地域で子ども達に関わっていらっしゃる方や今も子どもとの関わりが深い方等がメンバーとなっています。また、山中地区では、山中ならではの、地域での連帯の組織「よきん講」があり、旧山中町時代から続く商工会等のいろいろな組織も残っています。そんな山中の良さを生かして、地域の皆さんと学校とがゆるやかにつながる機会を増やせるといいなと思っています。そうすることで、先ほどの「コミュニティスクールの有用性」が感じられる学校に近づけるのではと考えています。

少子高齢化で、街の中での子ども達の姿は減っていますが、だからこそ、地域の未来に担う子ども達に学校での教育+ α がある山中小学校になるお手伝いが出来たら良いなと考えています。



11月28日「非行被害防止講座（情報学習会）」

加賀市教育委員会より宮下先生を講師にお招きして、4年生から6年生までの児童と保護者の方対象に、「インターネットの危険性と付き合い方」というテーマで、講話していただきました。保護者の方からも、「わかりやすい内容で、子どもたちにもよく伝わったと思う」「インターネットの便利さや危険性については、今まで家でも話してきた。講座の内容を思い出しながら、子どもと話していると、今まで以上に深く残っていた。私たち大人も気を付けなければいけないことだと気づくことができた」などの感想をいただきました。